

四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進 プロジェクトシンポジウム 2021 女性リーダー育成セミナー

- 1)調査目的 本調査は、シンポジウム 2021 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2)調査対象 シンポジウム 2021 視聴者
- 3)調査方法 シンポジウム 2021 終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
- 4)調査期間 2021 年 11 月 8 日 (月) ~12 月 24 日 (金)

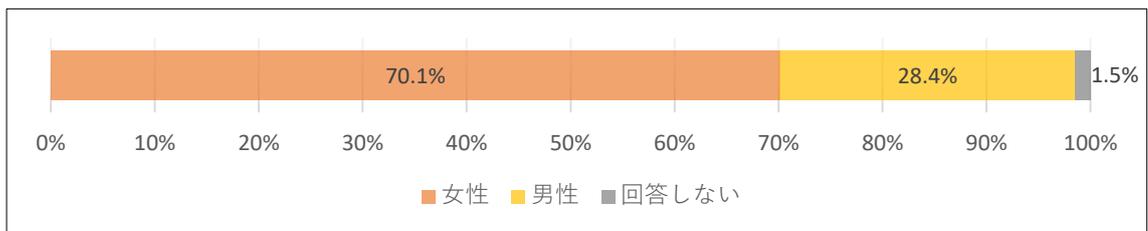
■ アンケート集計結果

回答数 対象者 129 名、回答者 67 名
回答率 51.9%

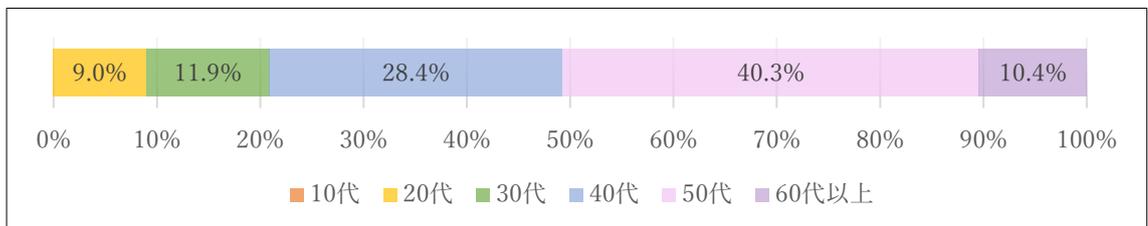
■ アンケート調査結果

○ 回答者の属性

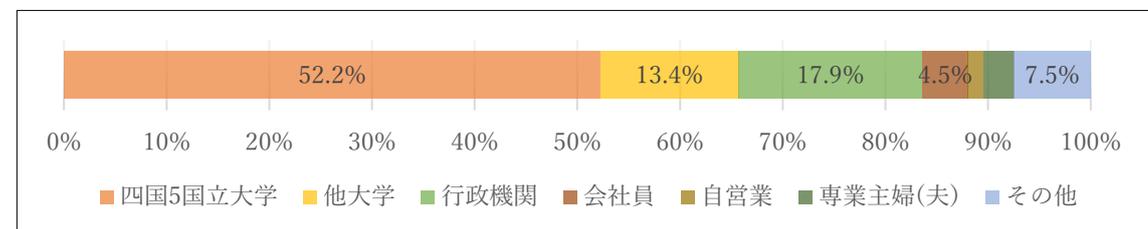
◆ 性別



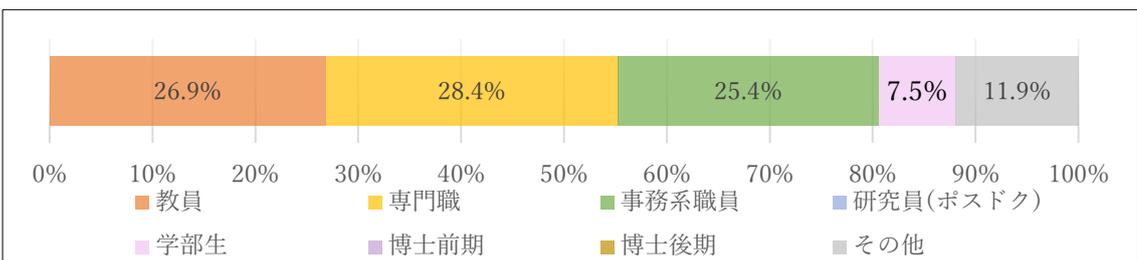
◆ 年齢



◆ 所属

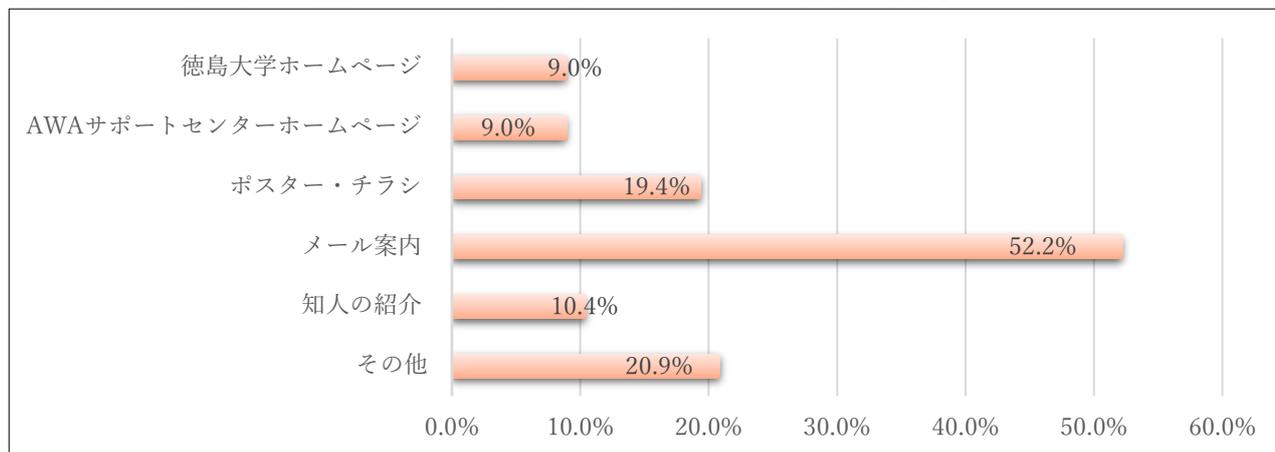


◆ 職種



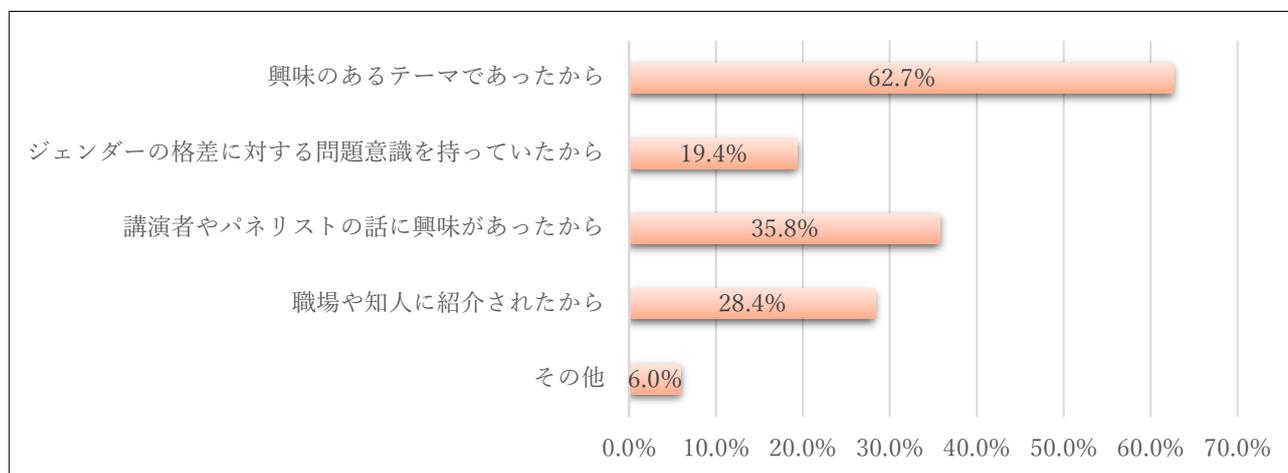
回答者の性別では、女性が70.1%で男性が28.4%であった。
 年齢は20代～30代が20.9%で、40代以上が79.1%であった。
 所属は、四国5国立大学が52.2%で、他機関等の学外からは47.8%であった。
 職種は、専門職が28.4%と最も多く、次いで教員が26.9%であった。

問1. 本シンポジウムを知ったきっかけをお聞かせください。(複数回答可)



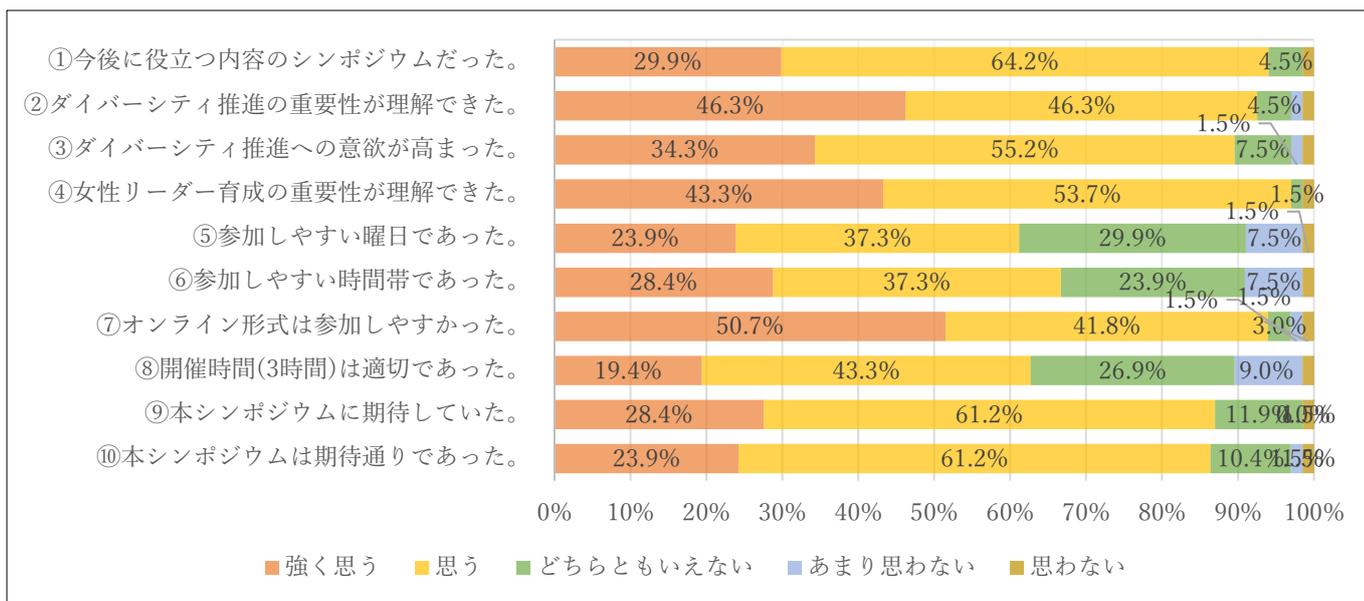
開催の広報効果については、『メール案内』が52.2%と最も高く、『ポスター・チラシ』が19.4%、『AWAサポートセンターホームページ』は9.0%であった。

問2. シンポジウムに参加された理由をお聞かせください。(複数回答可)

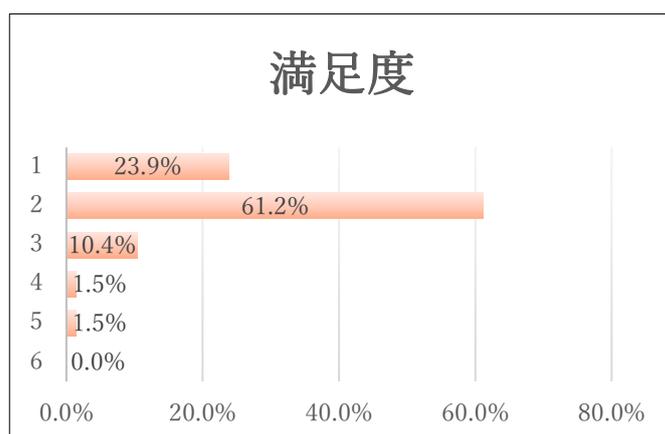
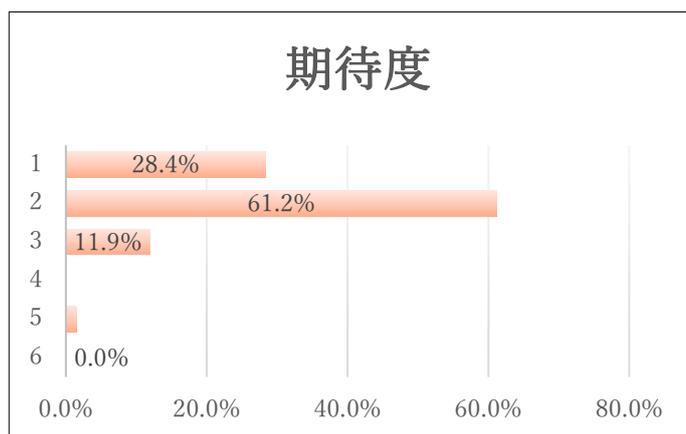


シンポジウム参加理由については、『興味のあるテーマであったから』が62.7%と最も高く、次いで『講演者やパネリストの話に興味があったから』が35.8%、『職場や知人に紹介されたから』が28.4%、であった。

問 3. 以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。



『今後に役立つ内容のシンポジウムだった』に対して、94.1%が『強く思う』『思う』と回答し、また、『ダイバーシティ推進の重要性が理解できた』に対して、92.6%が『強く思う』『思う』と回答しており、開催意義が大きいことがわかった。また、『女性リーダーの育成の重要性が理解できた』に対して、97.0%が『強く思う』『思う』と回答しており、女性リーダー育成の重要性についても理解を深められた。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『曜日』『時間帯』『開催時間』はそれぞれ、61.2%、65.7%、62.7%と、過半数が『強く思う』『思う』と回答しているが、曜日については月曜日であったことが影響したと考えられる。また、『オンライン形式は参加しやすかった』は 92.5%が『強く思う』『思う』と回答しており、大変参加しやすい開催形式であったことがわかる。



期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、89.6%が『強く思う』『思う』と回答しており、満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、85.1%が『強く思う』『思う』と回答している。また、期待度の平均値は 4.1 点、満足度も 4.0 点であり、期待度、満足度ともに高かった。